

# 平成26年度予算見積調書

課室名：会計課

担当名：予算係

内線：2234

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B4	大規模災害対策の推進			一般会計	警察費	警察管理費	警察施設費	警察施設整備費	
事業期間	平成18年度～	根拠法令	警察法、消防法、建築基準法			戦略項目	05	大規模災害への備え	
						分野施策	010501	危機管理・防災体制の強化	
<b>1 事業概要</b> 東日本大震災を機に県民の防災意識はこれまで以上に高くなっている。 大規模災害時に防災拠点となる警察施設の機能強化を進め、災害に強い体制の整備を継続的に進め、県民の期待に応える。 (1) 大型非常用発動発電機の更新整備 79,526千円 (2) 耐震性貯水槽の整備(新設) 32,844千円				<b>5 事業説明</b> (1) 事業内容 ア 大型非常用発動発電機の更新整備 79,526千円 大型非常用発動発電機の更新 (鴻巣警察署(250KVA)、幸手警察署(250KVA)) イ 耐震性貯水槽の整備(新設・40t) 32,844千円 耐震性貯水槽の新設(本庄警察署、小川警察署) (2) 事業計画 ア 大型非常用発動発電機の更新整備 (ア) 平成27年度 浦和西警察署(250KVA)、大宮西警察署(200KVA)、新座警察署(200KVA)、狭山警察署(250KVA) (イ) 平成28年度 川越警察署(500KVA)、越谷警察署(250KVA) (ウ) 平成29年度 草加警察署(400KVA)、吉川警察署(300KVA) (エ) 平成30年度 浦和東警察署(250KVA) イ 耐震性貯水槽の整備(新設・40t) (ア) 平成27年度 加須警察署、小鹿野警察署 (3) 事業効果 大規模災害や自然災害等により商用電力等の供給がされない場合、復旧までの時間を想定した能力(約72時間)を備えた大型非常用発動発電機等を整備することで、防災拠点の機能維持を可能とする。 <b>【事業実績】</b> 大型非常用発動発電機 耐震性貯水槽(40t) ・平成18年度 東松山警察署(200KVA)、行田警察署・羽生警察署(150KVA) ・平成19年度 飯能警察署(200KVA) ・平成20年度 本庄警察署(200KVA) ・平成21年度 小川警察署(220KVA) ・平成22年度 杉戸警察署(200KVA)、交通機動隊(80KVA) 交通機動隊 ・平成23年度 武南警察署(220KVA)、小鹿野警察署(75KVA)、児玉警察署(170KVA) 児玉警察署 ・平成24年度 浦和警察署(500KVA)、加須警察署・岩槻警察署(250KVA) 行田警察署、武南警察署 ・平成25年度 川口警察署(400KVA)、深谷警察署・久喜警察署・秩父警察署(250KVA) 飯能警察署、東松山警察署 熊谷警察署(400KVA)、北部機動センター(130KVA)					
<b>2 事業主体及び負担区分</b> (県10/10)									
<b>3 地方財政措置の状況</b> (1) 地方債の充当率 100%・75% (2) 交付税措置 元利償還金について、その70%・30%を基準財政需要額に算入									
<b>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</b>									
<b>財 源 内 訳</b>									
予算額		県債						一般財源	前年との対比
決定額	112,370	111,000						1,370	123,677
前年額	236,047	235,000						1,047	